

株 式 会 社 エ ー ワ ン 精 密
平 成 25 年 6 月 期 決 算 説 明 会

平成25年6月期 決算説明会資料目次

	ページ
(1) 当社の事業について	
① 当社の事業展開	1
② 事業内容・特色	2
③ コレットチャック部門	3
④ 切削工具部門	4
⑤ 自動旋盤用カム部門	5
(2) 決算について	
① 決算の概要	6
② 損益の状況	7
③ 財務の状況	8
④ キャッシュ・フローの状況	9
(3) 今後の事業展開	
① コレットチャック部門	10
② 切削工具部門	11
③ 自動旋盤用カム部門	12
(4) 添付資料	13

当社の事業展開

経営理念

高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事業内容

コレットチャックの製造・販売（昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作（平成11年～）

自動旋盤用カムの製造・販売（昭和45年～）

事業領域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

13,500社以上の顧客からリピートオーダーが入る

コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

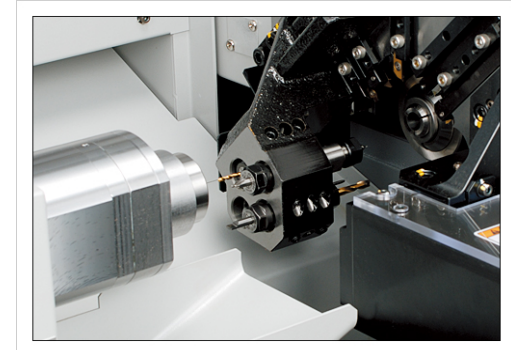
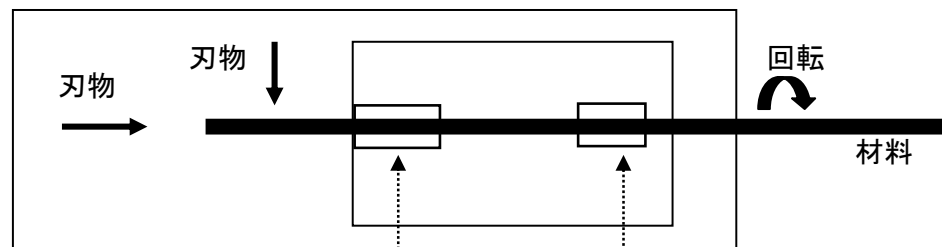
NC旋盤 2,320億円(2012年生産額) 16,083台
うち CNC自動旋盤 約 1,200億円(2012年推定生産額)

主なCNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリーミヤノ、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機 985億円(2012年生産額) 4,533台



加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など



切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

マシニングセンタ	4,654億円(2012年生産額)	45,998台
NCフライス、中ぐり盤	195億円(2012年生産額)	736台

使用される工具

超硬エンドミル	338億円(2012年生産額)
超硬ドリル	285億円(2012年生産額)
その他超硬工具	380億円(2012年生産額)

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

加工部品のイメージ



- ・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る
- ・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される
- ・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型



自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用されるカムの設計・製作・販売

- ・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械
- ・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない
- ・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

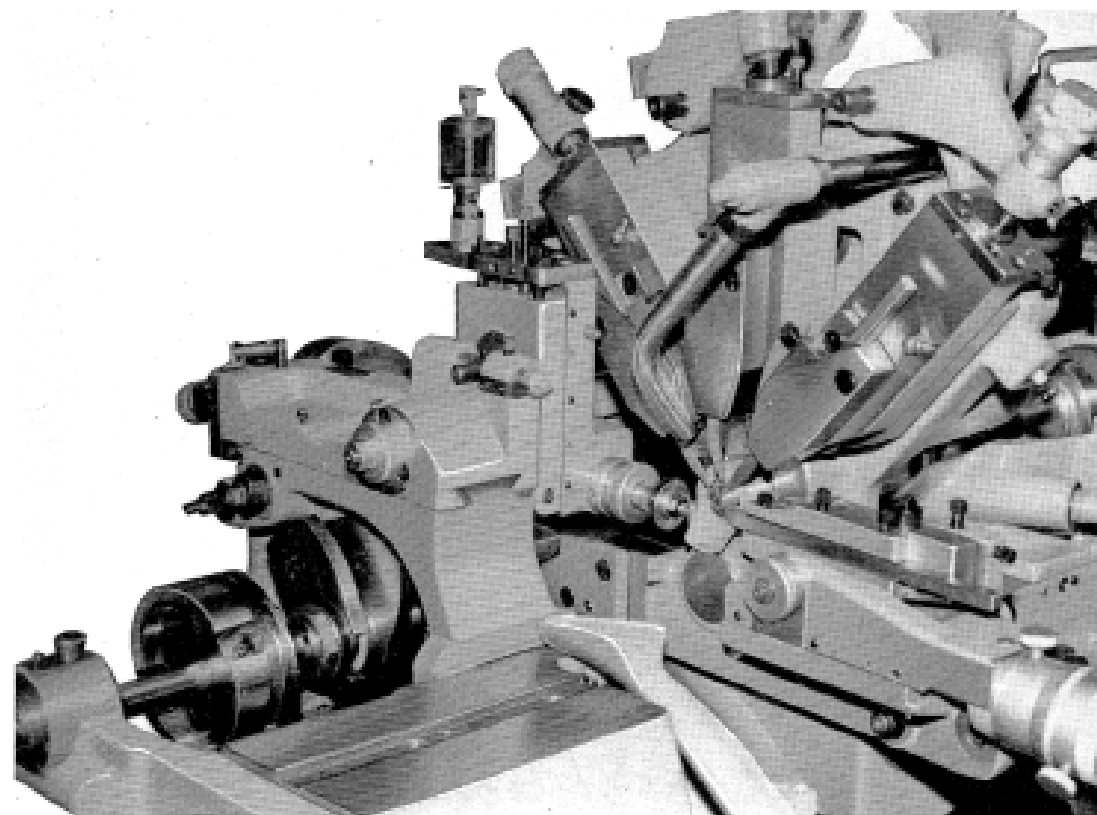
製品写真



カム式自動旋盤 (型番: NS-P1053)



カム取付後写真



平成 25年 6 月期 決算概要

売上	・昨年までの円高傾向と消費者ニーズの多様化により消費市場での現地生産化が進展。 ・国内大手メーカーが輸出から海外生産設備増強へと移行する動きが活発化。 ・昨年末からの為替円安傾向で国内製造業の海外での価格競争力が徐々に回復。 ・新興国の労働力コスト上昇などで一部で国内生産回帰の動きも出てきた。
原価	・減価償却費と消耗品費が微減した。
利益	・売上高の減少により、利益率は低下した。

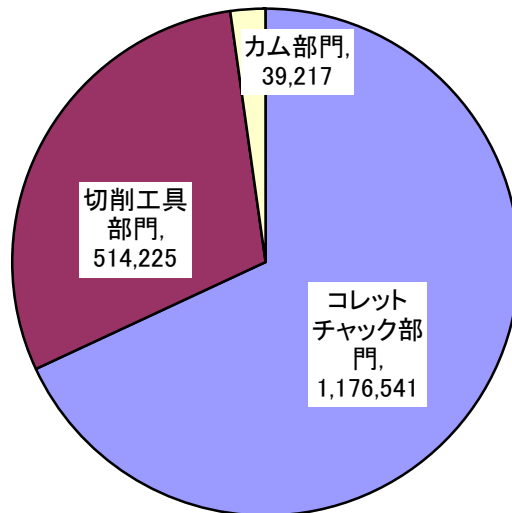
人件費

	(千円)	
	22期	23期
労 務 費	687,273	664,460
コストに占める比率	49.4%	49.1%

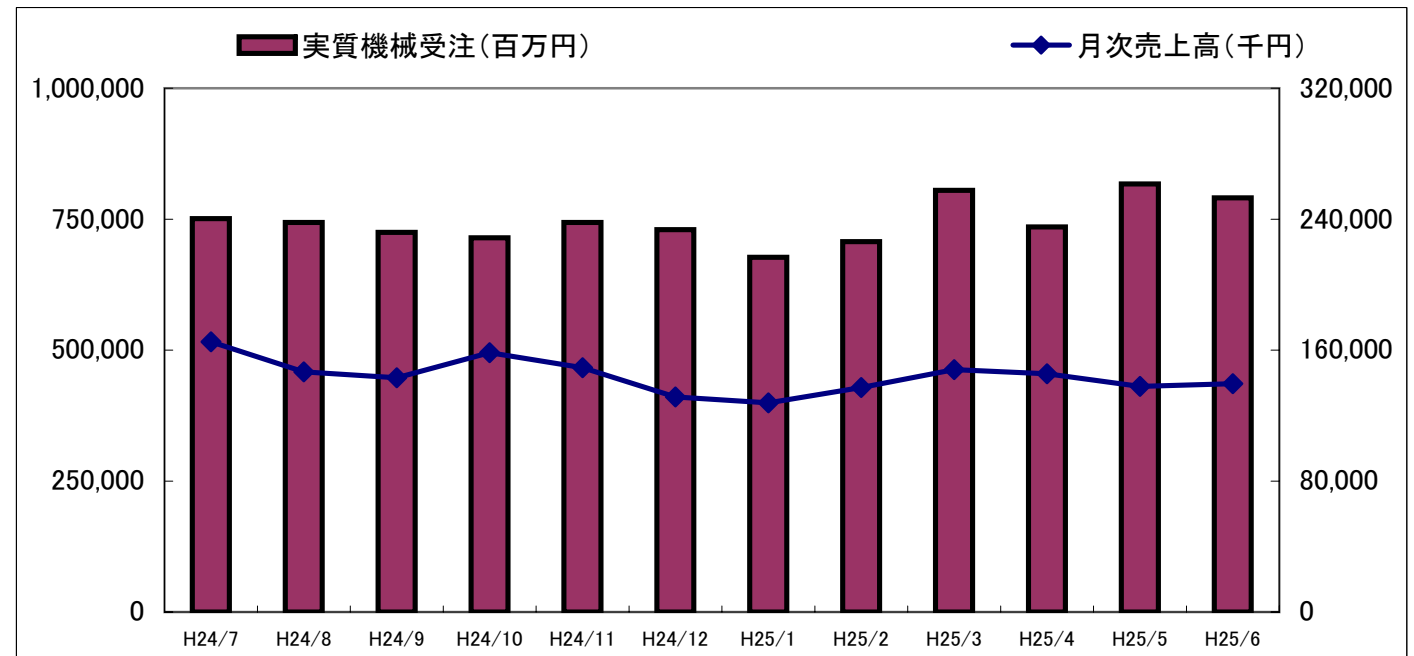
設備投資額と減価償却費

	(千円)		
	21期	22期	23期
設備投資額	133,667	532,629	73,405
減価償却費	216,881	291,159	278,748

部門別売上構成比(千円)



実質機械受注と月次売上高



平成 25 年 6 月期 損益の状況

(単位：千円)

	平成 24 年 6 月期			平成 25 年 6 月期			増 減 要 因
		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
売上高							
コレットチャック	1,307,908	69.7%	100.8%	1,176,541	68.0%	90.0%	・国内の量産部品加工が減少傾向で、国内設備投資も低調だったため、コレットチャックは受注減。
切削工具	512,543	27.3%	114.1%	514,225	29.7%	100.3%	・切削工具は顧客数増加により受注は横ばい。
自動旋盤用カム	55,786	3.0%	91.3%	39,217	2.3%	70.3%	
合 計	1,876,238	100.0%	103.8%	1,729,984	100.0%	92.2%	
売上原価	1,110,145	59.2%	107.8%	1,083,633	62.6%	97.6%	・減価償却費と消耗品費が微減した。
売上総利益	766,093	40.8%	98.5%	646,351	37.4%	84.4%	・売上高の減少により、利益率が減少した。
販売費及び一般管理費	281,473	15.0%	98.7%	269,103	15.6%	95.6%	
営業利益	484,619	25.8%	98.3%	377,247	21.8%	77.8%	
経常利益	513,719	27.4%	99.7%	400,997	23.2%	78.1%	
当期純利益	284,936	15.2%	94.4%	244,548	14.1%	85.8%	

平成 25年 6 月期 財務の状況

(単位：千円)

事業年度 資 産	平成24年6月期		平成25年6月期		増 減 要 因
	金 額	構成比	金 額	構成比	
現預金	3,453,719	46.9%	3,987,543	50.4%	・設備投資の減少と利益の積み上げ分により、現金及び預金が 533百万円増加
売上債権	427,358	5.8%	361,950	4.6%	・ 売掛金が 53,258千円減少
棚卸資産	205,139	2.8%	215,849	2.7%	・ 仕掛品が 11,419千円増加
その他流動資産	18,467	0.3%	22,883	0.3%	
固定資産	3,255,633	44.2%	3,320,544	42.0%	
資 産 合 計	7,360,318	100.0%	7,908,770	100.0%	
負 債・資 本					
買入債務	15,940	0.2%	12,528	0.1%	
その他流動負債	125,350	1.7%	234,789	3.0%	・ 未払法人税等が 110,732千円増加
固定負債	340,816	4.7%	386,251	4.9%	
負 債 合 計	482,107	6.6%	633,569	8.0%	
純資産合計	6,878,210	93.4%	7,275,201	92.0%	
負債・純資産合計	7,360,318	100.0%	7,908,770	100.0%	

平成 25年 6 月期 キャッシュ・フローの状況

(単 位 : 千 円)

	平成24年6月期	平成25年6月期	対前年比増減額	増 減 要 因
営業活動によるキャッシュ・フロー	488,747	719,016	230,268	主な増加要因：税引前当期純利益 400,273千円、減価償却費 278,748千円 主な減少要因：法人税等の支払額 74,798千円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 235,596	▲ 1,359,000	▲ 1,123,403	主な減少要因：定期預金の純増減額の増加 1,279,125千円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 97,767	▲ 105,317	▲ 7,550	全額配当金の支払い額
現金及び現金同等物の増減額	155,383	▲ 745,301	▲ 900,685	
現金及び現金同等物の期末残高	1,315,904	570,602	▲ 745,301	

今後の事業展開 ～ コレットチャック 部門

事業環境

- ◇金属部品加工の微細化・精密化の進展
- ◇大量生産品や高精度を要求されない部品は海外生産へ
- ◇工具の売上は機械稼働率とほぼ連動

競合状況

- ◇国内は数社、中国等の工具メーカーの台頭（納期・品質で不安定）

当社の事業展開

- ◇専用機・NC旋盤向け特殊コレットチャックの対応力向上
- ◇顧客の要望の充足、納期・品質の徹底

今後の事業展開 ～ 切削工具部門

事業環境

- ◇加工複雑化に伴い特殊刃物ニーズ拡大
- ◇高価な超硬工具普及により再研磨ニーズ増大
- ◇加工工程短縮・効率化を図るため、高精度の特殊切削工具へのニーズが高まる

競合状況

- ◇市場規模推定250億円
- ◇メーカー系、工具商社、各地域ごとに中小規模専門多数

当社の事業展開

- ◇営業地域拡張し、知名度・認知度向上を目指す
- ◇特殊ものへ対応範囲を拡大し、新たな顧客層の拡大に努める

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム 部門

事業展開

- ◇カム式自動旋盤(すでに製造中止)は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
- ◇将来的には減少傾向

競合状況

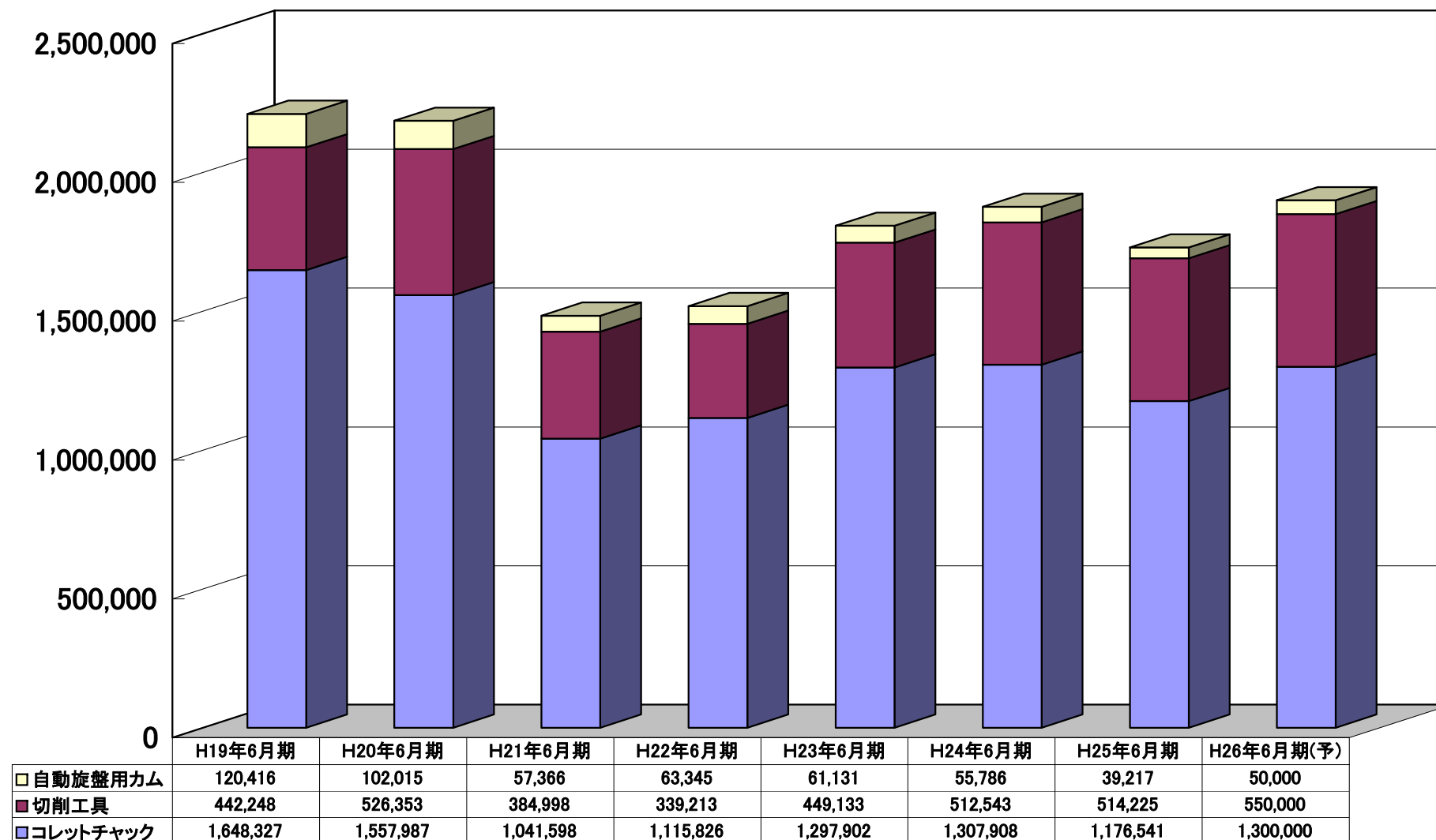
- ◇6千万円弱の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開

- ◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
- ◇低コスト製造を徹底

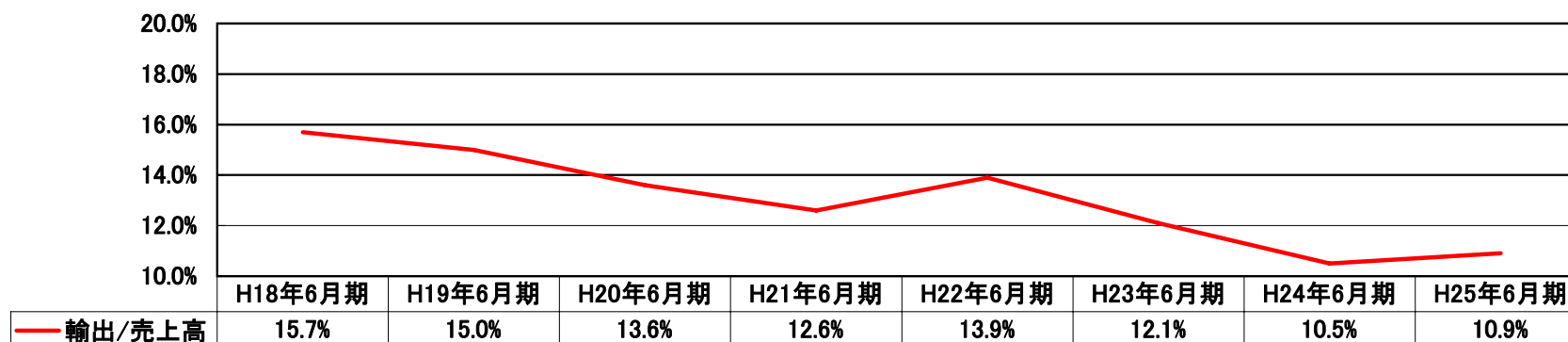
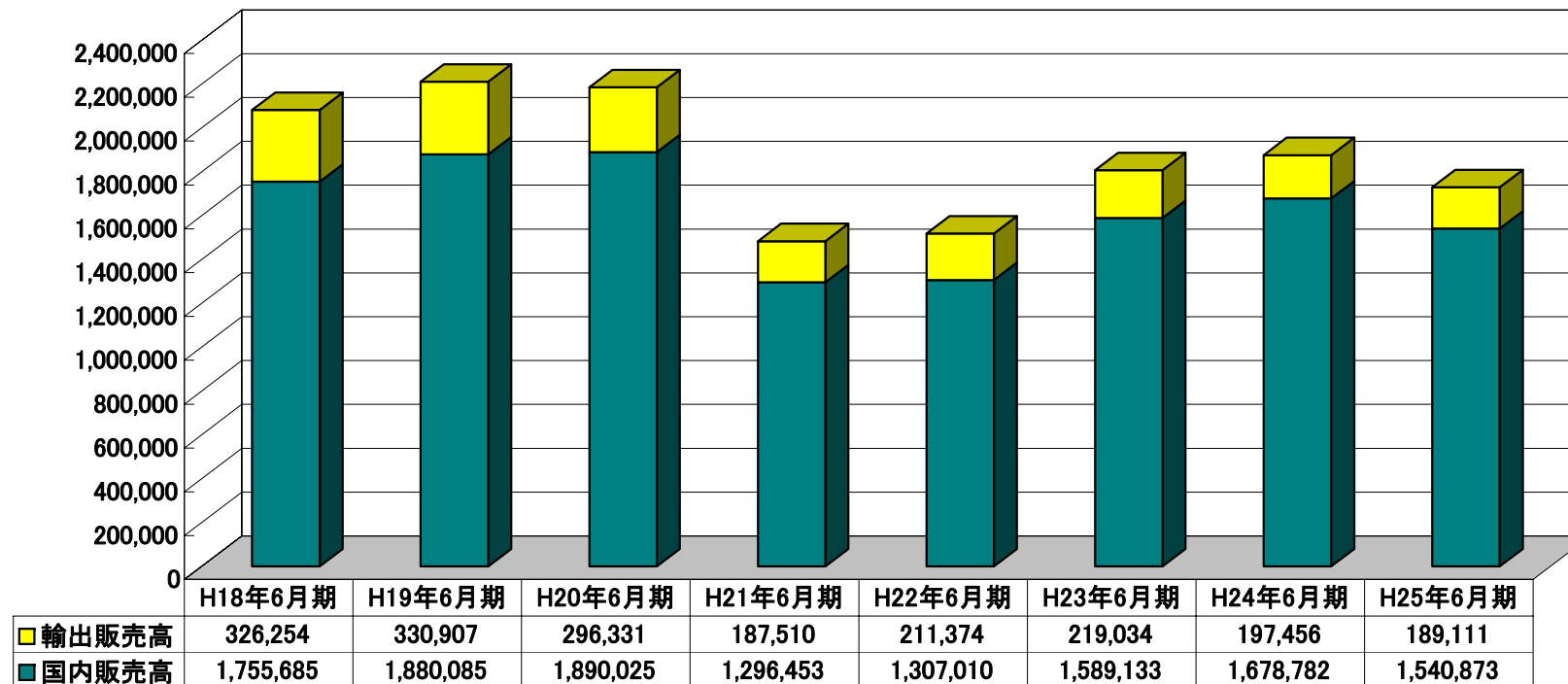
部門別売上状況

(単位：千円)



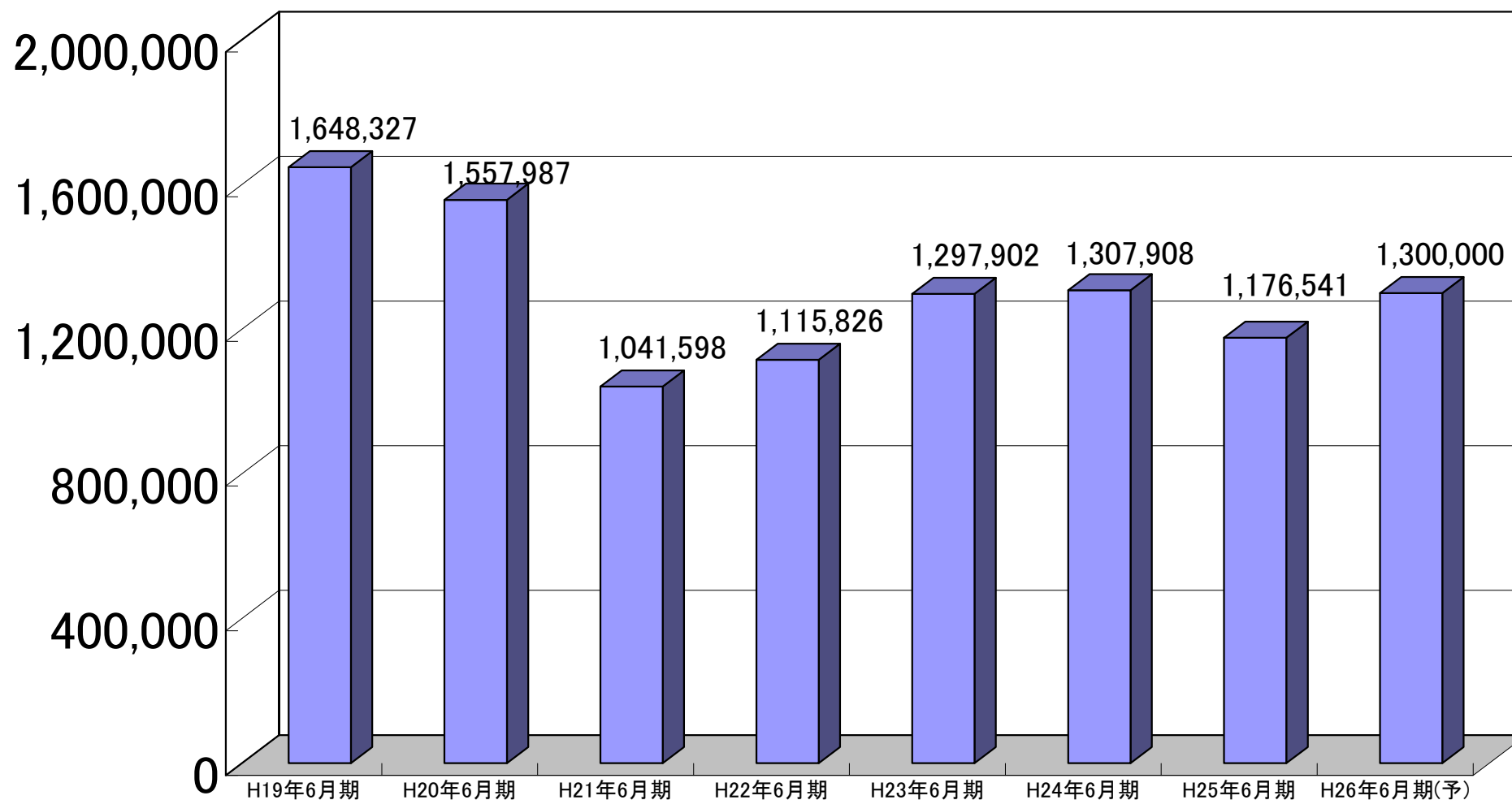
輸 出 売 上 状 況

(単位：千円)



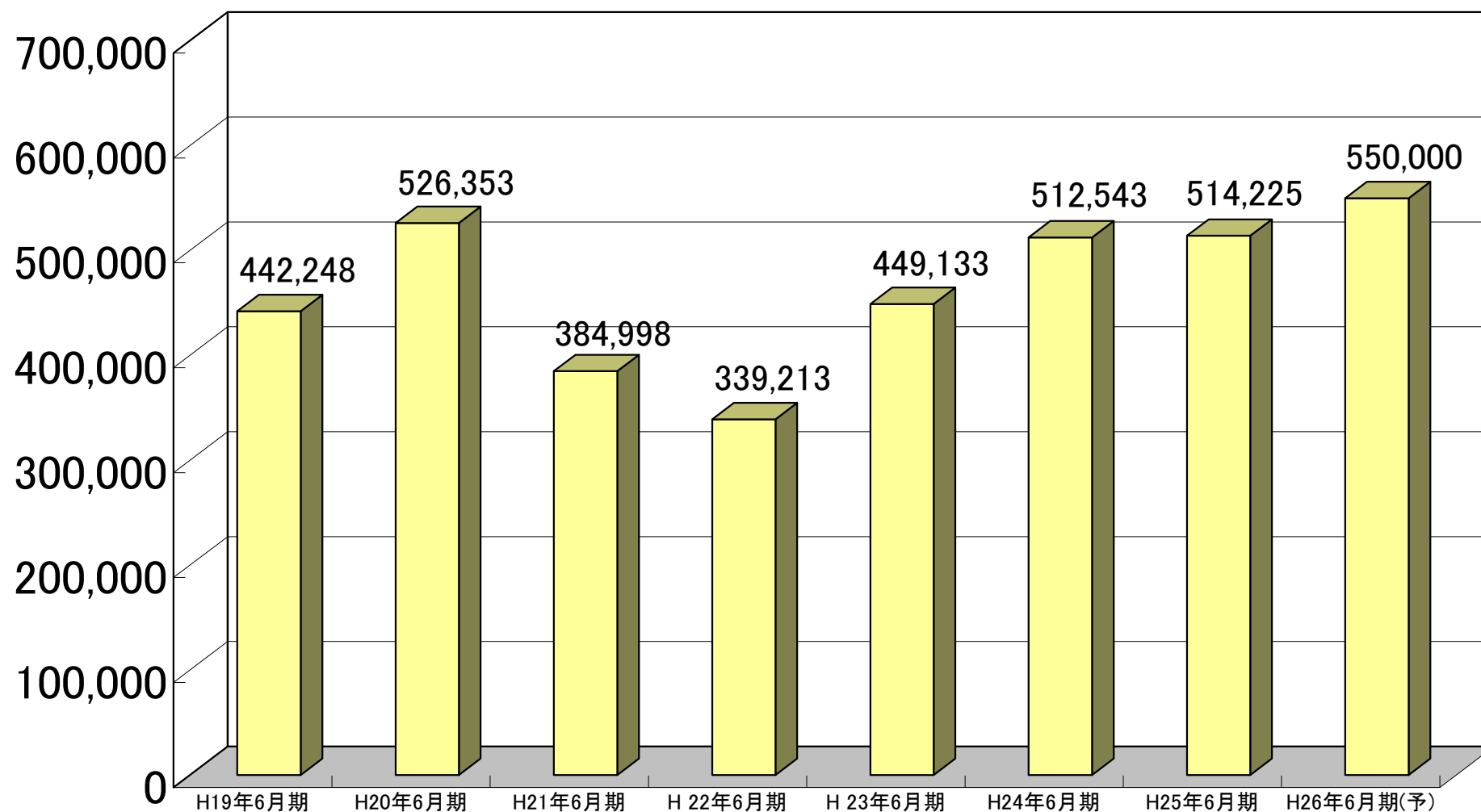
部門別状況 ～ コレットチャック部門

売上高(単位:千円)



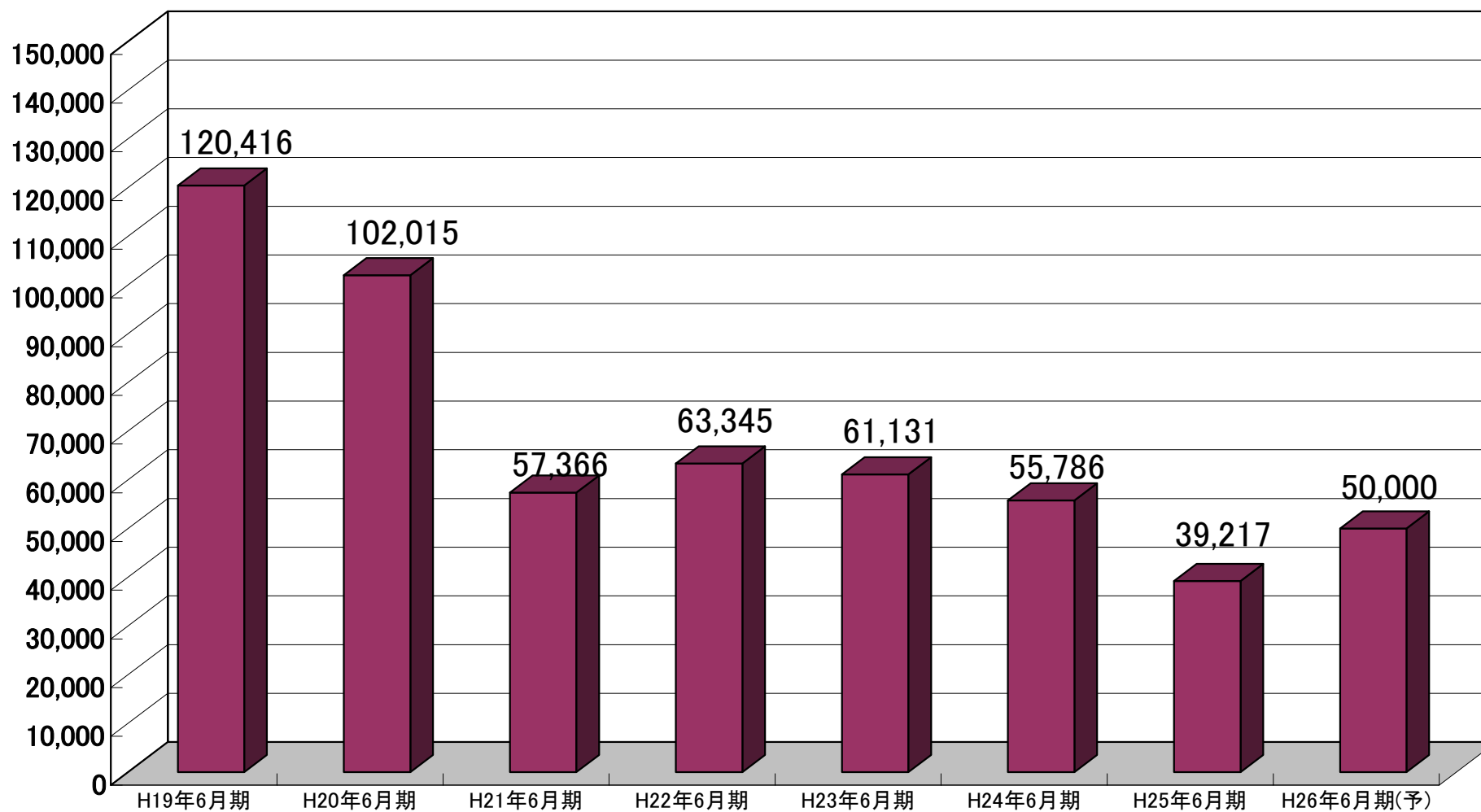
部門別状況 ～ 切削工具部門

売上高(単位:千円)



部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

売上高(単位:千円)



設 備 投 資 と 減 価 償 却

	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期
設備投資額 (単位:千円)	513,931	225,010	133,667	532,629	73,405

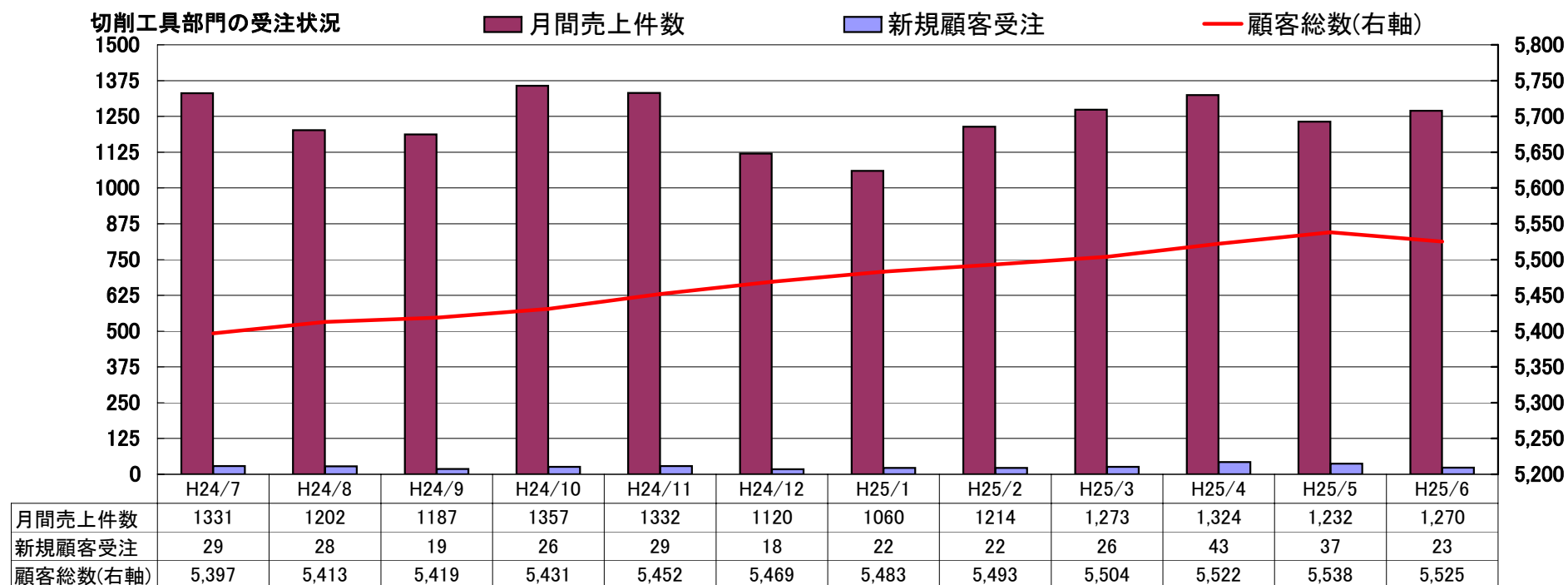
	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期
減価償却費 (単位:千円)	210,917	233,795	216,881	291,159	278,748

切削工具部門の戦略と受注状況

受注体制(人材、設備、社内オペレーション)を万全にする

新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

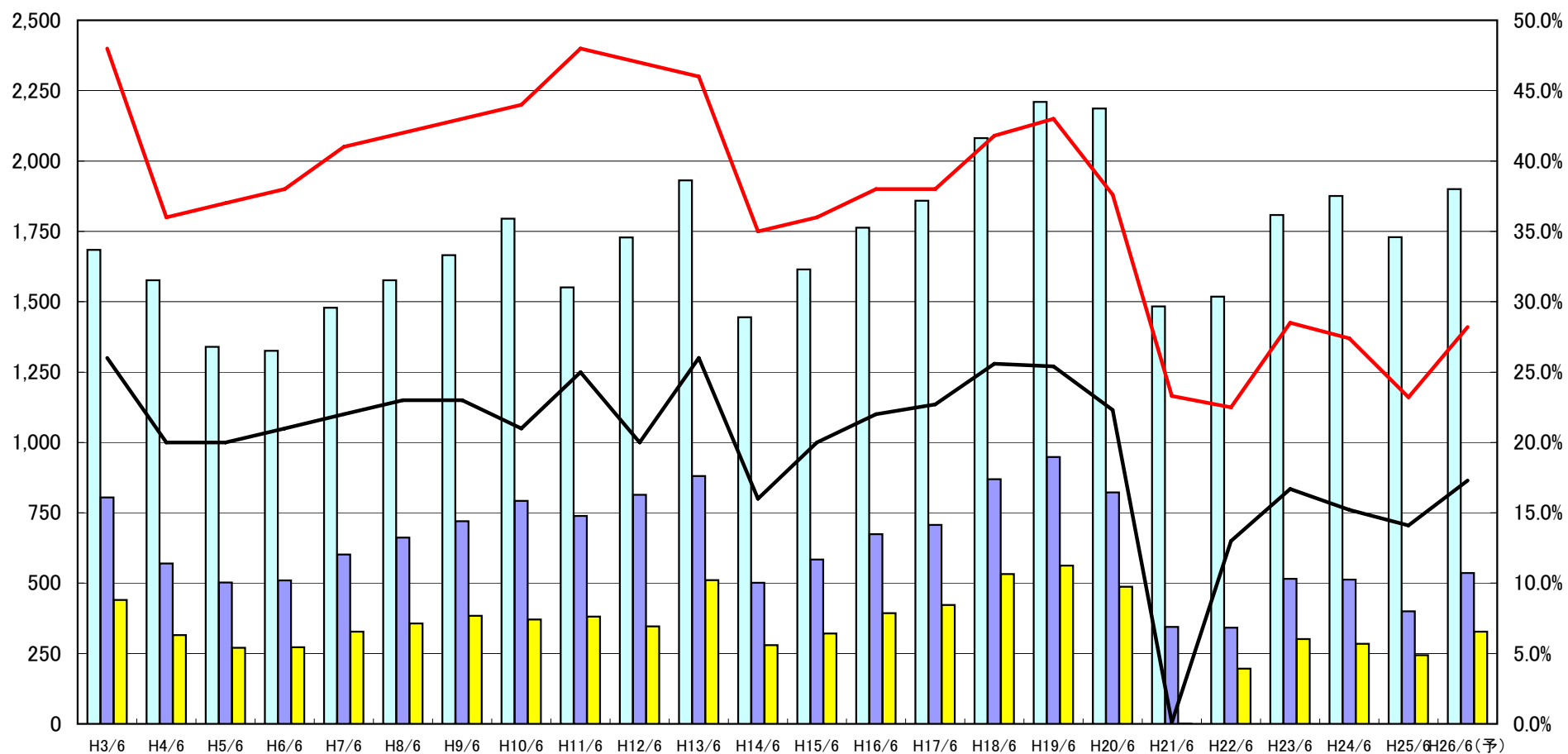
営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める



業績の推移

売上高 経常利益 当期純利益 売上高経常利益率 売上高当期純利益率

単位: 百万円



実質機械受注と月次売上高

